

## 658km、陽子の旅 (2022)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 113分

初公開日 2023/07/28

公開情報 カルチュア・パブリッシャーズ

映倫 G

## 【キャッチコピー】

何もかも間に合わなくて――それでも、青森に帰ります

## 【解説】

「海炭市叙景」「夏の終り」の熊切和嘉監督が、自身の劇場映画デビュー作「空の穴」以来となる「バベル」「トレジャーハンター・クミコ」の菊地凛子を主演に迎え、室井孝介の“TSUTAYA CREATORS' PROGRAM”2019脚本部門審査員特別賞脚本を映画化したロードムービー。就職氷河期世代の孤独な中年女性を主人公に、疎遠だった父の訃報を受け、思いがけず東京から実家のある青森までヒッチハイクするハメになった主人公の心の軌跡を優しい眼差しで見つめる。共演は竹原ピストル、黒沢あすか、見上愛、風吹ジュン、オダギリジョー。

夢を抱き、親の反対を押し切って青森から上京して20数年になる42歳の独身女性、陽子。夢はとうに諦め、半ば引きこもりとなっていた彼女のアパートに、従兄の茂が父の訃報を伝えにやって来る。そして、そのまま茂の家族とともに車で青森の実家へ向かうことに。ところが思わぬトラブルから、途中のサービスエリアで置き去りにされてしまった陽子。手元にはわずかな所持金しかなく、明日の正午の出棺に間に合うよう、ヒッチハイクすることを決意する陽子だったが…。

## 【クレジット】

|            |                      |
|------------|----------------------|
| 監督         | 熊切和嘉                 |
| 製作         | 中西一雄<br>押田興将<br>松本光司 |
| プロデューサー    | 小室直子<br>松田広子         |
| ラインプロデューサー | 齊藤有希                 |
| 原案         | 室井孝介                 |
| 脚本         | 室井孝介<br>浪子想          |
| 撮影         | 小林拓                  |
| 美術         | 柳芽似                  |
| 衣裳         | 宮本茉莉                 |
| 編集         | 堀善介                  |
| 音楽         | ジム・オルーク Jim O'Rourke |
| 照明         | 赤塚洋介                 |
| 装飾         | 柳芽似                  |
| 持道具        | 柳芽似                  |

|       |         |                 |       |
|-------|---------|-----------------|-------|
| 録音    | 吉田憲義    |                 |       |
| ヘアメイク | 河本花葉    |                 |       |
| 助監督   | 桑原昌英    |                 |       |
| 出演    | 菊地凜子    | Rinko Kikuchi   | 陽子    |
|       | 竹原ピストル  | Takehara Pistol | 工藤茂   |
|       | 黒沢あすか   |                 | 立花久美子 |
|       | 見上愛     |                 | 小野田リサ |
|       | 浜野謙太    |                 | 若宮修   |
|       | 仁村紗和    |                 | 八尾麻衣子 |
|       | 篠原篤     |                 | 水野隆太  |
|       | 吉澤健     |                 | 木下登   |
|       | 風吹ジュン   |                 | 木下静江  |
|       | オダギリジョー |                 | 工藤昭政  |